

平成21年度
生物多様性
モデル事業

事業名:里山の生物多様性保全のための維持管理 ~若い世代へと引き継ぐ取り組み~

団体名:里山応援隊

☆ 目的

多様な生物が生息する里山にて、学生と地元団体が作業を共にし、自分たちが楽しみ喜びを感じながら、活動場所に存在する希少種及びその生態系維持の必要性の理解を促すことを目的とする。

☆ 内容

- ◎ エコメッセ2009 in ちばへの出展
活動内容をまとめたポスターや手作り絵本の展示を行った。
- ◎ 里山管理
千葉市大草において、生物のための水田作りや無農薬水田の管理を行った。
秋の収穫祭では、無農薬水田で作った米を使って餅つきの実演販売を行った。
- ◎ 生物調査
佐倉市の畔田において、季節ごとに特異的な生物の調査と定期的な生物の調査によって、身近な場所に生息している生物相の実態を明らかにした。
- ◎ 自然観察会
子供と大人が一緒になって楽しみながら動植物を観察し、新たな発見や喜びを共にした。また、学生の年長者としての意識の向上にも繋がった。
- ◎ ブログの開設
活動内容の報告を目的とし、インターネットを通じて多くの人に活動を知ってもらえるようになった。

☆ 今後

会員の知識の向上と、より密な地域との連携について考えていく必要があるため、会員同士による勉強会の開催によって知識を深め、学生が積極的に地域の活動に参加することで地域との連携を図っていく。



☆ 団体概要

地域の自然環境保全、環境教育を担う市民団体等と連携し、若者（大学生）の参加による地域活動の活性化を図る。さらに若者は小中学生の野外活動を補助し、次世代を担う子供たちの育成に携わる。それによって、世代間の意思疎通、年長者としての意識の向上を期すことを目的とする。

☆ 事業による成果など

大草で行った水田管理では、初めて田植えを行う者もあり、田植えの楽しさや大変さを学んだ。自分たちで育てた稲が生育すると苦勞も喜びに変わり、誇りと達成感を得ることができ、農作業への関心が高まった。また初めての水田管理という事で、経験豊富な地元の方に多くの指導を受け、地元との繋がりも深まった。

佐倉市畔田では、主に生物調査を行った。生物調査は佐倉市の畔田谷津ワークショップの方と協同で行い、鳥班・昆虫班・両生類班と分担して行った。里山に生息する生物は多様であり、それぞれが楽しみながら、知識を得る事ができた。また里山環境が維持されるためには、多くの人の協力が必要であることも感じた。

☆ 問い合わせ

住所: 〒274-0072

船橋市三山2-2-1 (東邦大学)

代表者: 柿本 恵里那

電話: 090-5158-4034

Mail: satoyama-kouhou@hotmail.co.jp

URL: <http://satoyamaaa.blog40.fc2.com/>

